



に い ざ

広 報

特集

新座の教育



※新座っ子ばわーあつくらぶ 栄小「書道くらぶ」の皆さん

平成28年
2016年

1月号

今月号の注目トピックス

- 平成28年市長年頭挨拶 P1~2
- みんなの力で大江戸線を新座市へ P3
- 特集「新座の教育」 P4

目 次

- お知らせ……………P5~8、P14~15
- 保健センター通信……………P9
- 公民館通信……………P10
- 子育て通信……………P11
- 相談いろいろ、消費生活情報 ……P12
- Niiza Photo Gallery……………P13
- 観光あらかると、集まれ!!にいざっ子ほか……………P16



新座市長 須田 健治

新年あけまして
おめでとうございます

市民の皆様におかれましては、
平成28年の輝かしい新春をお迎えのことと、
心からお慶び申し上げます。



旧年中は、新座市政の推進に当たりまして、温かい御支援と御協力を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。

昨年、国においては、長期に渡るデフレからの脱却と経済成長を目指す第3次安倍改造内閣が発足し、アベノミクス第2ステージとして、「強い経済」「子育て支援」「社会保障」の新3本の矢を掲げ、1億総活躍社会の実現を目指して新たな国づくりをスタートさせた年でありました。しかしながら、国の財政は債務残高がGDPの約2倍に膨らみ、今後も更に累増することが予測されるなど先行きは不透明であり、経済再生と財政健全化の両立に向けた具体的な政策を打ち出すことが重要課題とされています。一方、地域における人口減少や人口流出の歯止めを主眼を置いて、各地域がそれぞれの特性をいかして、活気あふれる社会を持続していけるよう「地方創生」の取組も進めているところであり、政府には、今後も地域経済活性化のために全力で取り組んでいただきたいと思います。

さて昨年は、日本人研究者2

人のノーベル賞受賞に日本中が沸き、またスポーツ分野においては、ラグビー・ワールドカップでの日本チームの歴史的な活躍が、私達に大きな夢と感動を与えてくれるなど明るい話題もありましたが、その一方で11月に発生したフランス・パリでの同時多発テロは、何の罪もない人々が多数犠牲者となるなど、世界中を震撼させました。

また、国内では、記録的な大雨となった「平成27年関東・東北豪雨」により、鬼怒川の堤防が決壊し想像を絶する水害に見舞われ、自然災害の恐ろしさを改めて実感した年でもありました。地球温暖化による異常気象や環境悪化など、今後も様々な自然災害が懸念されますが、市民の皆様が安全・安心を第一に考え、いつ起こるか分からない災害に対し防災体制を強化してまいります。

そのような中、昨年は本市は市制施行45周年を迎え、各種記念事業を展開してまいりました。夏に行われました第1回大江戸新座まつりでは、ふるさと新座館周辺において子ども達を対象とした「にいざっ子ザリガニ釣り大会」の開催を始め、新座の夏の風物詩である阿波踊りも盛大に行われるなど、多くの市民の皆様にご来場いただき、イベントを盛り上げていただきました。11月1日には、市民会館において記念式典も開催し、新座ブランドとして認定した商品とロゴマーク、そして、手打ちうどん名人を御紹介するとともに、認定書の授与も行ったところであります。今後も新座の魅力を発信し、住んでよし、訪れてよしのまちづくりに努めてまいります。



新座ブランド認定式の様子

（市長年頭挨拶の続きを2ページに掲載しています）



— 市長年頭挨拶 —

市政運営の重点施策

市では、昨年は「ぶれずに 曲げずに 誠実に」チーム新座で明るい未来を切り拓こうと「スローガン」に、引き続き「連帯と協働によるまちづくり」「観光都市にいちづくり」「新たな視点による都市づくり」を3つの重点戦略とし、さらに「安心して暮らせる安全なまちづくり」「エコシティ新座の実現を加えた5つの柱」で市政を運営してまいりました。

◆(仮称)大和田二・三丁目地区土地区画整理事業◆

まちづくりの大きな方針としての「新たな視点による都市づくり」につきましては、市街化調整区域が市の面積の42パーセントを占めているという本市の特性をいかし、良好なまちなみを形成することにより税収の伸びる豊かなまちを目指すものであ



雑木林を楽しむ体験型観光など、県内と都内から双方方向利用が見込めることで採算性にも寄与できること、約4ヘクタールの車両基地を無償提供できることなど、昨年はあらゆる機会を捉え各関係機関に対し積極的に説明を重ねてまいりました。今年ももう間もなく、国の交通政策審議会から答申が示されることとなり、おり、正に今、本市の未来への方向性が決定されようとしています。残された時間は僅かですが、市民の皆様には、最後まで地下鉄延伸実現への熱い思いが国や東京都に届きますよう、御理解と御協力をお願い申し上げます。

◆市役所新庁舎建設事業◆

市民生活に最も重要な「安心して暮らせる安全なまちづくり」におきましては、首都直下地震が懸念される中、本庁舎の耐震性が不十分であるとの診断結果を受け、本市の防災拠点となる新庁舎の建設に向けた取組を進めております。市民の皆様や市議会などから様々な御意見を伺い、昨年基本設計及び実施設計が完了し、今年2月には第1期工事がスタートする運びとなりました。市民の皆様が利用しやすく親しみやすい快適な庁舎とするともに、長期間に渡り使用できる効率的・経済的環境にやさしい庁舎となるよう多角

的な視点で建設を進めてまいります。新庁舎建設につきましては、広報にいざ2月号の特集記事で詳しくお知らせいたします。

◆そのほかの事業◆

少子高齢社会を迎え、昨年は子ども子育て支援新制度がスタートした年であり、本市では「新座市子ども子育て支援事業計画」を策定いたしました。「子どもが親が地域が育つ子育て応援都市にいざ」を基本理念とし、本市に生まれ育つ全ての子どもが必要な教育・保育を受けることができるよう、また、親が安心して子どもを預け、仕事と子育てを両立できるよう、引き続き待機児童の解消や保育環境の充実に努めてまいります。また、今後ますます加速する高齢化に伴い、高齢者が活躍し、いきいきと暮らせるよう、「にいざ元氣アップ広場」の開催など介護予防や健康づくりの取組を充実してまいります。

本市では現在、国の地方創生の取組に合わせて新座市地方創生総合戦略の策定を進めるとともに、第4次新座市基本構想総合振興計画・後期基本計画や第2次観光都市にいざビジョンなど重要な計画を市を挙げて策定しております。このほかにも数多くの懸案事項を抱えておりますが、こうした様々な課題に対し、全職員が一致団結し「チーム新座」の精神で将来を見据えたまちづくりに全力で取り組んでまいります。

10年目を迎えた 観光都市にいざづくり

平成18年を初年度として取り組んでまいりました「観光都市にいざづくり」は10年目を迎え、現在平成28年度から推進期間とする「第2次観光都市にいざビジョン」の策定を進めています。本市の地方創生の要となる大変重要な取組として、これ



まで以上に広い視野や新たな切り口で内容の充実に努め、来訪者を増やすだけでなく、新座に住んでみたい、住み続けたいと思って頂けるよう魅力的なまちづくりを進めてまいります。

また、昨年は新座ブランド認定事業第1弾として新座の魅力伝える「食分野で、和菓子や日本酒など10品の商品を認定いたしました。この10品は、今後広く市内外に発信することにより、本市の魅力度アップとイメージ向上、観光都市にいざづくりの更なる発展と地域経済活性化に大きく貢献するものと考えております。市民の皆様におかれましては、新座の魅力発信のため、是非おみやげとしても御活用いただければと思います。

市民の皆様とともに進める 魅力あるまちづくり

本市では、これまでも市民の皆様様々な形で御協力を頂き市政を運営してまいりました。特にボランティア団体の数は640に上り、こうした活動を通して人と人とのつながりや地域コミュニティの活性化が図られていることに、改めて感謝申し上げます。近年、地域コミュニティの意識が希薄になっていく中でも、本市の町内会加入率は他市に



比べ非常に高く、町内会活動も活発に行われております。こうした町内会やボランティア団体をはじめ、市民の皆様には、環境保全や防犯活動、福祉や教育などあらゆる面で市政の一翼を担っていただいております。今後も、引き続き御理解と御協力をいただきながら、連帯と協働のまちづくりを進めてまいりたいと思

今年のスローガン

最後に今年のスローガンは、「新たな魅力発信で 選ばれるまち新座へ」にぎわいと活力のある 緑豊かなふるさと新座を創ろう!!とさせていただきます。

詳しくは、2月末に開催される平成28年第1回新座市議会定例会での市長施政方針の中で述べさせていただきますが、今年はこのスローガンを基に、市民の皆様「住んでよかった、ずっと住み続けたい」と思っていただけよう、全力で市政運営を行ってまいりますので、御理解と御協力を心からお願い申し上げます。年頭の御挨拶いたします。

問合せ
秘書広聴課
(☎048-477-1488)